



# 学校だより

No. 3 さいたま市立神田小学校  
令和8年5月29日発行 Tel. (853) 4377  
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を  
たくましく生きる神田の子  
・かしこく・たくましく・あたたかく

## 子どもたちにとっての最大の居場所

校長 中村 誠

5月23日、運動会を開催することができました。前日まで雨が降っていたのですが校庭の状態も戻り、涼しい気候の中で子どもたちが自分の力を最大限に発揮できたものとなりました。これも、保護者・地域の皆様の日頃からの支えがあったからこそです。心から感謝申し上げます。実施後のアンケートは、現在100件を超えるご意見をいただいております。「短期間でよく頑張った」「子どもの一生懸命頑張る姿が見られた」との意見をいただく一方、競技の内容や数について、厳しくも温かいご指摘もいただきました。アンケートは、6月5日までとなっておりますので、忌憚なくご意見をいただければと思います。なお、このアンケートは、教職員内に周知し、来年度以降の運動会の在り方を検討する際に参考とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校では「子どもたち一人ひとりのWell-being（多様な幸福）の実現」を学校経営方針として掲げ、教育活動の充実に取り組んでおります。子どもたちがそれぞれの個性やよさを発揮しながら、心豊かに成長していくことこそが、学校の果たすべき使命であると考えております。この学校経営方針を着実に進めていくためには、学校が子どもたちにとって安心できる「最大の居場所」であることが何より重要です。子どもたちが「ここに来れば大丈夫」「自分は受け入れられている」と感じられる環境があってこそ、学びに向かう意欲や挑戦する力が育まれます。そのため、本校では心理的安全性を大切にし、どの子どもも安心して自分の思いや考えを表現できる教育活動を推進してまいります。

また、幸福とは決して誰かの不幸の上に築かれるものではありません。この視点に立てば、いじめは絶対に許されない行為です。いじめは突然生まれるものではなく、何気ないからかいや言葉のやり取りといった日常の中から芽生えることがあります。だからこそ、その小さな兆しを見逃さず、未然に防ぐことが大切です。今月は「いじめ撲滅月間」です。子どもたちに「人の不幸の上に自分の幸福は立たない」「人を幸福にしてこそ自分の幸福感が高まる」との訴えを繰り返し行ってまいります。子どもたち同士が互いを認め合い、助け合い、尊重し合う関係性を育てることは、私たち大人の責任です。本校では、日々の教育活動を通して、思いやりと協働の心を育み、誰もが安心して過ごせる学校づくりに努めてまいります。

「学校が子どもたちの最大の居場所となる」ことは、Well-beingの実現に向けた基盤です。すべての子どもが自分らしく輝ける学校を目指し、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。そして将来「いじめ」という言葉が社会からなくなることを願い、その実現に向けて歩み続けてまいります。